

平成25年度 展覧会 熊野古道なかへち美術館

熊野古道なかへち美術館開館15周年記念特別展 渡瀬凌雲展

4月13日（土）～7月7日（日）

前期：4月13日（土）～5月26日（日）

後期：6月1日（土）～7月7日（日）

休館日：毎週月曜日（ただし4月29日・5月6日は開館）

4月30日（火）・5月7日（火）

観覧料：250円

主催：熊野古道なかへち美術館・田辺市立美術館

開館15周年を記念して、これまで作品の収集と研究を進めてきた当地ゆかりの南画家、渡瀬凌雲の画業を回顧する特別展を開催します。凌雲は長野県に生まれましたが、渡瀬家の故郷が紀州熊野であることを生涯誇りにし、紀南地方の風景をしばしば重要な作品の主題としてとりあげました。

本展覧会は田辺市立美術館と共同で開催し、両会場で初公開の大作や、目にふれることの少ない作品も展示します。



熊野古道なかへち美術館開館15周年記念特別展

渡瀬凌雲展

わたせりょううん

平成25年
4月13日(土)～7月7日(日)

前期：4月13日(土)～5月26日(日)
後期：6月1日(土)～7月7日(日) ※会期中、展示替えがあります

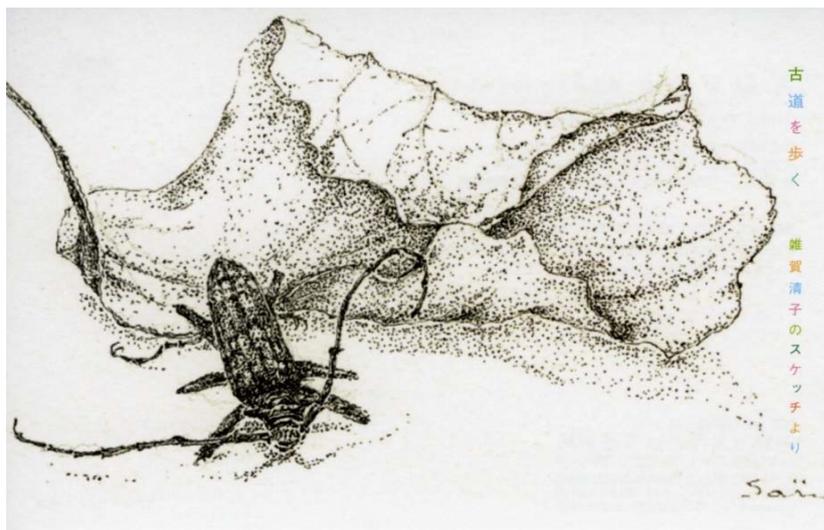
主催：熊野古道なかへち美術館・田辺市立美術館

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：毎週月曜日(但し、4月29日、5月6日は開館)、4月30日(火)、5月7日(火)
※4月29日～5月6日は臨時休館となります。

観覧料：熊野古道なかへち美術館 250円(300円)
田辺市立美術館 600円(880円)
※17歳未満は半額、18歳未満は無料です。

5月11日(土)・6月8日(土) 熊野古道なかへち美術館
5月18日(土)・6月15日(土) 田辺市立美術館
※いずれも年間鑑賞券の当館学生会員向けのみです。
※1回観覧料の日記念として行います。

田辺市立美術館分館 熊野古道なかへち美術館 田辺市立美術館
TEL.0739-65-0390 FAX.0739-65-0393 TEL.0739-24-3770 FAX.0739-24-3771



古道を歩く

雑賀清子のスケッチより

7月27日（土）～9月16日（月・祝）

休館日：毎週月曜日（ただし9月16日は開館）

観覧料：250円

主催：熊野古道なかへち美術館

当地の自然に関連する企画として定期的に行っている展覧会です。今回も雑賀清子のみずみずしいスケッチによって、草花や昆虫などの小さな生命の美を再発見する機会になればと思います。

植物の専門家による解説も添えて展示します。

平成25年度 展覧会 熊野古道なかへち美術館

熊野古道なかへち美術館開館15周年記念特別展 妹島和世+西沢立衛/SANAA展

10月10日（土）～12月23日（月・祝）

休館日：毎週月曜日（ただし10月14日

11月4日・11月24日は開館）

11月15日（火）・11月5日（火）

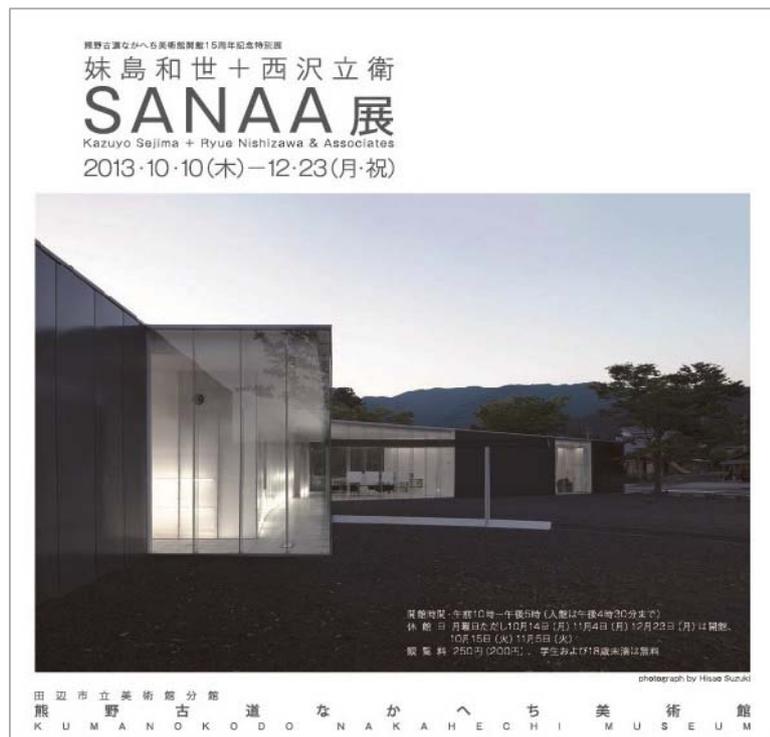
観覧料：250円

主 催：熊野古道なかへち美術館

協 賛：公益財団法人 大林財団

協 力：十和田市現代美術館

Hisao Suzuki・細矢仁



当館の一番大きな作品、「建築」にスポットをあてた展覧会を開催します。「熊野古道なかへち美術館」は建築家ユニットS A N A Aが手がけた最初の美術館ですが、以後S A N A Aによる美術館建築は世界中でも見られるようになりました。2010年には建築界のノーベル賞ともいわれるプリツカー賞も受賞しています。S A N A Aの奇跡を当館の設計資料を軸にして紹介します。



野長瀬晩花展 わが道を行く
2014・2・8(土) ▶ 3・23(日)

野長瀬晩花展 わが道を行く

平成26年2月8日（土）～3月23日（日）

休館日：毎週月曜日・2月12日（水）

観覧料：250円

主 催：熊野古道なかへち美術館

大正期に活躍した日本画家、野長瀬晩花の特徴的で個性あふれる表現を、収蔵品と近年発見された作品によって展観します。

西陽子 箏コンサート～木に眠る声～

平成25年9月28日（土）

主催：熊野古道なかへち美術館

定員：180名

演奏曲目：鳥のように（沢井忠夫作曲）、植物文様第11集

（藤枝守作曲）、青森蛙（藤井貞和・詩 / 高橋悠治・曲）

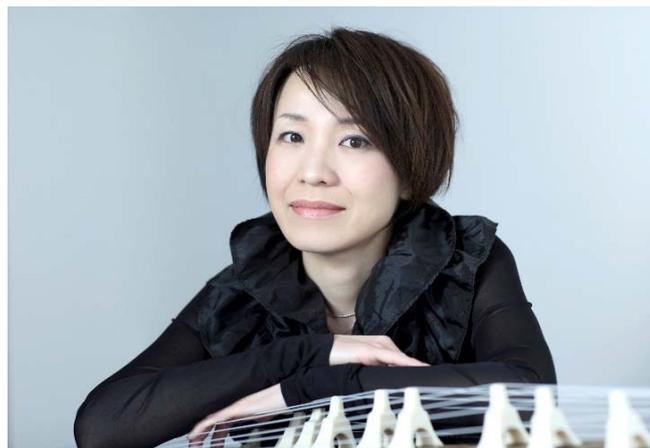
六段（八橋検校作曲）、月夜の海（西陽子作曲）、Puff

（レオナルド・リプトン / ピーター・ヤロー作曲・西陽子

編曲）、七つのスペイン民謡より（ファリャ作曲・西陽子

編曲）、即興演奏など。

※（注）演奏曲目は都合により変更になることがあります。



美術館開放講座は、芸術の面白さや豊かさを色々な角度から知っていただいたり体験していただく講座です。この講座が、展示作品や資料をより深く楽しんだり、芸術全体に対しての広い鑑賞力を養う一助となることを願っています。今回は10月10日より開催します開館15周年記念特別展「妹島和世＋西沢立衛/SANAA展」へと連なるイベントの意味も込めた演奏会で、和歌山県出身で東京在住の箏曲家、西陽子さんをご紹介します。

伝統ある邦楽の世界から始まり現代曲に至るまで、従来のはとらわれない自由な発想と表現力で、箏という楽器の可能性や面白さを様々な形で私たちに見せてくれる西陽子さんは、これまで国内はもとよりアジア・欧米の各地で演奏活動を行い高く評価されてきました。また、スイスで開催の世界経済フォーラム(ダボス会議)や、NYのカーネギーホールでの演奏などを含む演奏活動、他分野の邦楽家や美術家・作家・詩人たちとのコラボレーションといった活動実績は輝かしく、目をみはるものがあります。

演奏だけでなく、楽曲や箏についての説明もして頂くまたとない演奏会です。私たちの既成概念をくつがえす新しい箏の世界を楽しんで頂き、芸術の面白さに触れ、発見や学びの機会にして頂きたいと思います。